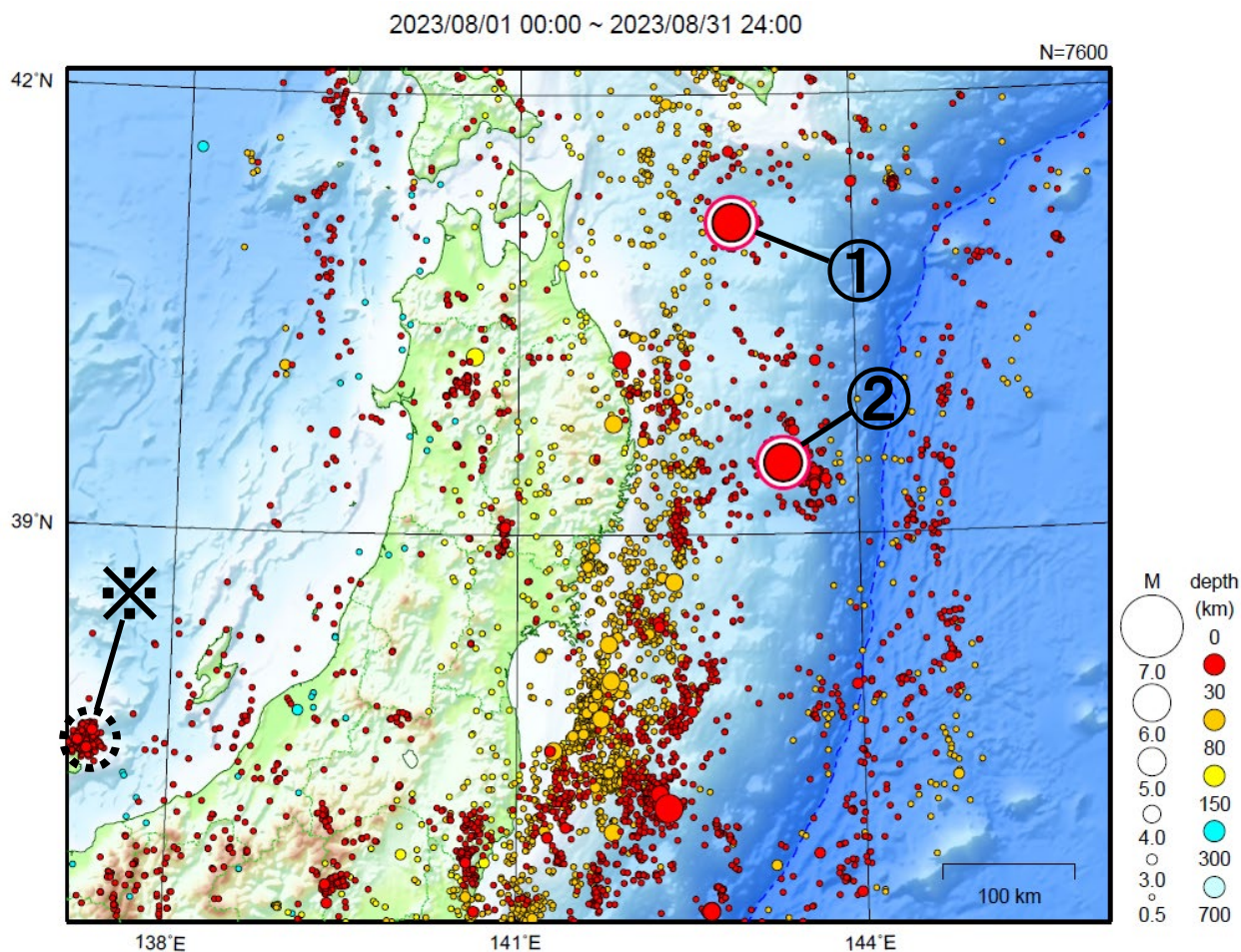


東北地方



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

- ① 8月11日に青森県東方沖で M6.2 の地震（最大震度4）が発生した。
- ② 8月25日に三陸沖で M6.0 の地震（最大震度3）が発生した。

※で示した地震については関東・中部地方の資料を参照。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

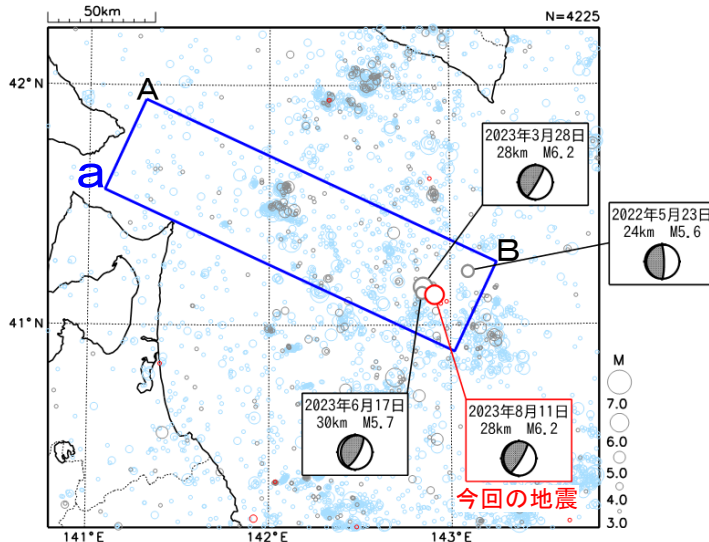
気象庁・文部科学省

8月11日 青森県東方沖の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2023年8月31日、
深さ0～120km、 $M \geq 3.0$)

1997年10月以降に発生した地震を**水色**、
2020年9月以降に発生した地震を**灰色**、
2023年8月に発生した地震を**赤色**で表示
図中の発震機構はCMT解

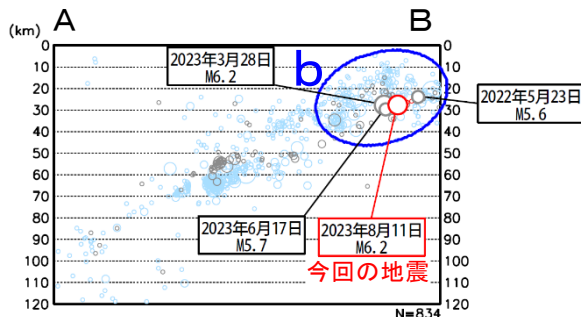


2023年8月11日09時14分に青森県東方沖の深さ28kmでM6.2の地震 (最大震度4) が発生した。この地震は発震機構 (CMT解) が西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

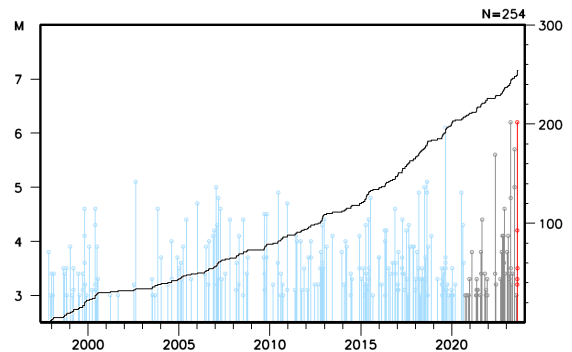
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、M5.0以上の地震が時々発生している。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、M6.0以上の地震がしばしば発生している。この中には、「平成15年 (2003年) 十勝沖地震」 (M8.0、最大震度6弱) や「昭和57年 (1982年) 浦河沖地震」 (M7.1、最大震度6)、「1968年十勝沖地震」 (M7.9、最大震度5) も含まれている。

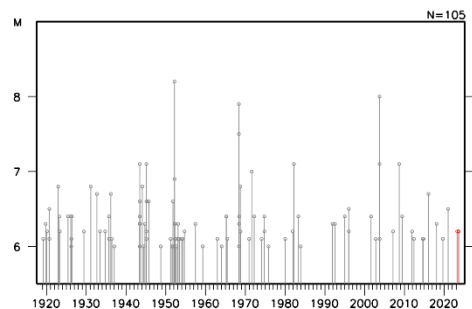
領域a内の断面図 (A-B投影)



領域b内のM-T図及び回数積算図



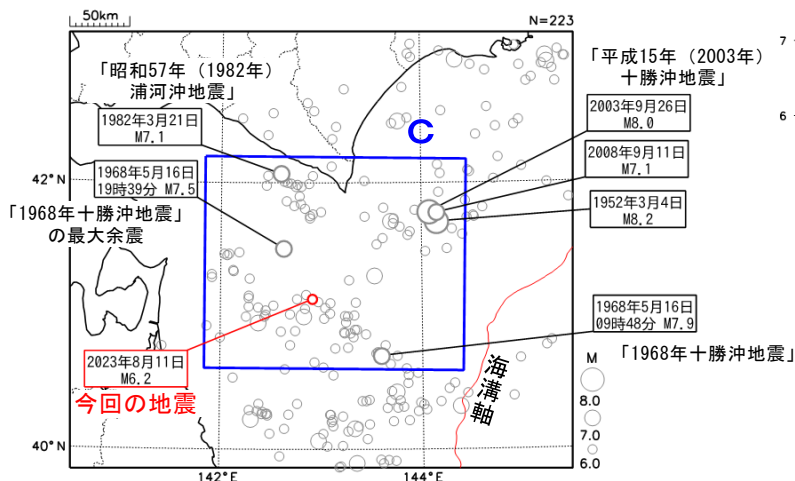
領域c内のM-T図



震央分布図

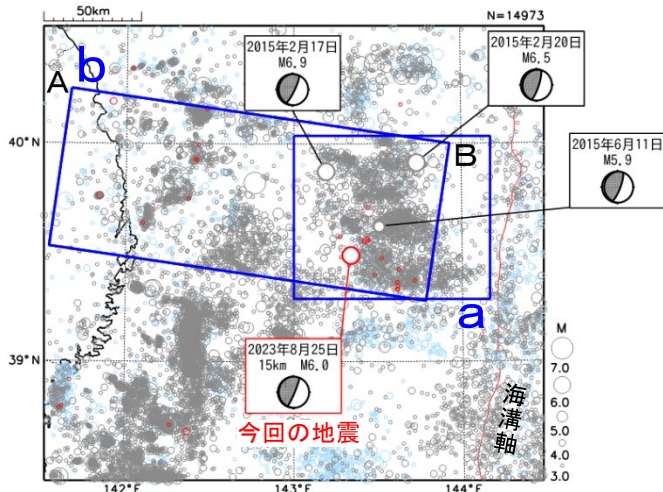
(1919年1月1日～2023年8月31日、
深さ0～120km、 $M \geq 6.0$)

2023年8月に発生した地震を**赤色**で表示

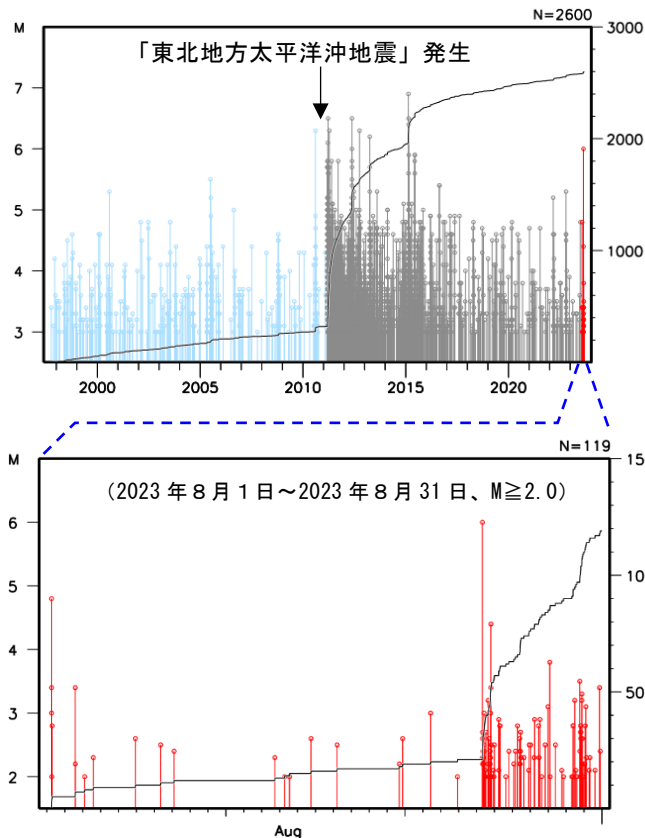


8月25日 三陸沖の地震

震央分布図
(1997年10月1日～2023年8月31日、
深さ0～120km、 $M \geq 3.0$)
1997年10月以降に発生した地震を**水色**、
2011年3月11日以降に発生した地震を**灰色**、
2023年8月に発生した地震を**赤色**で表示
図中の発震機構はCMT解



領域a内のM-T図及び回数積算図



2023年8月25日07時48分に三陸沖の深さ15kmでM6.0の地震 (最大震度3) が発生した。この地震は発震機構 (CMT解) が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

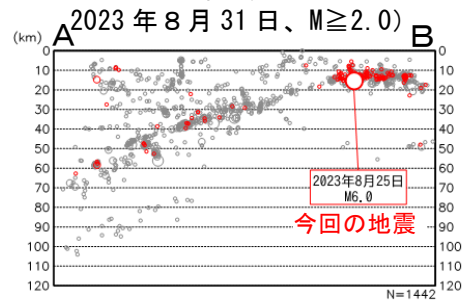
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近 (領域a) では、「平成23年 (2011年) 東北地方太平洋沖地震」 (以下、「東北地方太平洋沖地震」) の発生前からM5.0以上の地震が時々発生していたが、東北地方太平洋沖地震の発生以降、地震発生回数が増加し、M5.0以上の地震が度々発生している。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、M6.0以上の地震がしばしば発生している。領域cの周辺では、「平成6年 (1994年) 三陸はるか沖地震」 (M7.6、最大震度6) も発生している。

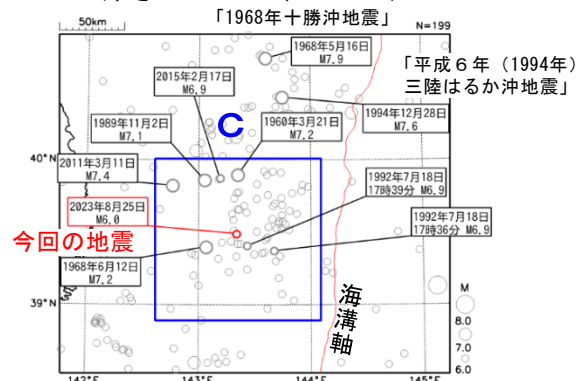
領域b内の断面図

(A-B投影、

2020年9月1日～



震央分布図
(1919年1月1日～2023年8月31日、
深さ0～120km、 $M \geq 6.0$)



領域c内のM-T図

